

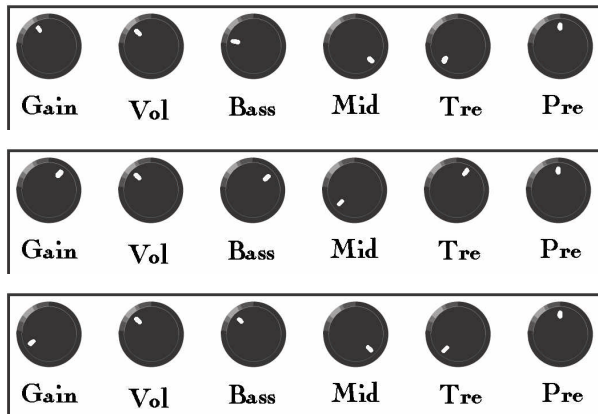
1. 概要

Guitar Preamp Effector Driver's Son はギターのためのペダル型プリアンプです。  
 3+1 バンドパスブートンコントロールを装備し、ギターアンプ同様のサウンドメイキングが可能です。  
 ピッキングニュアンスの再現を重視して設計されていますが、決して控えめの歪みという訳ではありません。  
 バイパス時とほとんど変わらないトーンバランスでのクリーンサウンドからトリッキーなソロワークに必要な深い歪みまで幅広くサポートします。  
 背面に切替スイッチ持ち、クリーン～軽い歪みのクリーンチャンネルと、ドライブチャンネルを切り替えることができます。  
 ドライブチャンネルではアンプをフルドライブした状態を回路上で再現し、ジャリとしたアンプ特有のアタック感を出します。  
 GAIN が低いときは中高域が強調される特性を持つるので、歪みが少ない状態ではビンテージ OD 風、歪みを増すと太いドライブサウンドという音色の使い分けもできます。  
 あるいはアンプのサウンドはよいのだけれども歪みが足りない場合はブースターとして使用し、クリーンアンプしかないときにはペダルで歪ませる、というように幅広く利用できると思います。

2. 使用方法

インプットジャックにギターの出力、アウトプットジャックに出力機器を接続します。インプットジャックが電源のスイッチになっています。  
 外部電源を利用する場合は電源ジャックに接続します。電圧は 9V、2.1f センターマイナスとなっています。  
 汎用の AC アダプタでも動作しますが、電圧が不定であったりノイズの原因となることもありますのでご注意ください。  
 006P 電池またはエフェクタ用 9V AC アダプタ/パワーサプライのご使用をお勧めします。

3. 設定例



**オーバードライブ風サウンド**  
 マイルドなまとまった音になりますが、標準的なオーバードライブよりレンジは広めです。

**ディストーション風サウンド**  
 低域と高域を強調したサウンドですが、アタックが強調されている点ではディストーションサウンドと少し異なります。

**ビンテージドライブサウンド**  
 GAIN が低いときは中域が強調される特性を持っています。さらに中域を強調してビンテージ OD 風のナチュラルなクランチ感を出します。

トーンコントロールはすべて絞りとすると無音になります。Bass(低音)、Mid(中音域)、Tre(高音)を中心とした各音をブレンドして音を作ると考えるとよいでしょう。Pre(プレゼンス)は全体的な音抜けを調整します。  
 GAIN ツマミの上背面のスイッチ上げるとドライブチャンネルモードとなります。  
 GAIN を最小値から上げていくと中域のみが強調され、10 時を過ぎたあたりからまたフラットなバランスになります。  
 スイッチ下げるとクリーンチャンネルモードとなります。  
 この状態でもゲインを最大にすると軽いクランチサウンドになりますが、これはドライブチャンネルでの歪みとは違った音色になります。

4. 基本仕様 (Rev.3)

外形寸法	H36mm×D85mm×W124mm (突起部含まず)
入力インピーダンス	1MO
推奨負荷インピーダンス	10kΩ 以上
電源供給	006P または 9V パワーサプライ
消費電流	10mA
コネクタ	入力標準フォンジャック (電源スイッチ兼ねる) 出力標準フォンジャック 9V 入力 (2.1f センターマイナス)
バイパス方式	メカニカルスイッチによるトゥルーバイパス

5. 注意

分解、改造などを行わないでください。故障の場合はメーカーにご相談ください。  
 極端な多湿、結露状態などの環境でのご使用は避けてください。  
 強い衝撃をあたえたり、落下させたりしないでください。